

案件名：初等教育における少数民族児童の指導・学習環境改善事業

📍 山間部の少数民族児童により良い学習環境を！



- 実施団体：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 [公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会\(SVA\)](#) | アジアの子どもに教育を。本を通じて世界が拓ける
- 対象国・地域：ラオス国ルアンパバーン県ムンゴイ郡、ポンサイ郡
- 実施期間：2024年6月～2027年6月（36ヶ月）
- 事業実施の背景：

ラオスは高い経済成長率を記録する一方、都市部と地方部の経済格差は依然大きい状況。メコン河沿いの平地に住む主要グループ(ラオス語話者)と比較し、北部山岳地域に多く居住する少数民族(非ラオス語話者)の貧困率は高く、さらには世帯主が公教育を受けていない世帯の方が高い貧困率を示す等、民族・使用言語や世帯主の教育レベルにもその差が表れています。都市部と地方部の格差は、**教育格差**とも連動し、少数民族言語の多くが文字を持たず、家庭でも殆どラオス語を使用しない中、公教育はラオス語で行われるため、その**言葉の壁**から期待される学習達成度に到達できません。また、児童数が少ない小規模学校が多数存在し、教室や教員の不足から、**複式学級**が取り入れられ、少数民族児童にとって良い学習環境の整備を一層困難としています。本事業では、**少数民族児童のラオス語習得・学習支援**体制を整備し、少数民族児童の教育環境改善を目指します。



目標と活動



✓ 目標：

- ・少数民族児童が**楽しみながら**ラオス語に触れる機会が増える
- ・ラオス語に不慣れな少数民族児童に対して、**教員**の効果的な学習支援を行う能力が向上する
- ・対象校の**保護者、教員、地域住民**による児童の学習支援体制ができる

🌱 活動：

- ・教員や地域コミュニティと協働し、児童が**楽しくラオス語を学ぶための読書推進活動**や**子どもの居場所運営**を行う
- ・教員によるラオス語学習支援や複式学級運営の実践力向上に向けた活動を行う
- ・児童の学習支援体制構築のため、教育開発計画の策定と実施支援を行う

推しポイント！



「**コミュニティと一体となった学習環境づくり**」



少数民族児童が多く住むへき地山間部の学校教員は、複式学級の運営など、毎日の課題への対応に忙しい状況。本事業では、そのような先生達をサポートしながら活動を実施するべく、「村教育開発委員会」（以下、**VEDC**）を巻き込んだ活動を行っていきます。VEDCは村長さんや父母会のメンバーで構成され、地域の教育ニーズに合った活動を計画しながら、学校教育を補完する役割が期待されています。まさに地域全体での少数民族児童の学習支援体制構築を目指します。さらに本事業において注目すべきは、**複数の近隣校との連携体制**。約5校から成る「学校区（クラスター）」内で意見交換を行い、学校同士がグッドプラクティスを学びあうことで、民族構成やその文化が異なる各学校が児童にとってより良い学習環境が整備できるよう取り組みます。



現地からのレポート

本事業対象地域には、ラオス語を母語としないカム族とモン族が主に暮らしています。同地域では、一人の教員が2学年以上の児童を同時に教える複式学級が一般的で、この学級形式で非ラオス語話者の児童に授業を実施するのは困難を要します。シャンティは、少数民族の子どもたちが、自身の文化やアイデンティティを大切にしながらも、ラオス語を楽しく学べる学校環境を整備します。



モン族の児童が複式学級で学んでいる様子